

川上ダム通信

2022
11
月号



令和4年5月1日に
設立60周年を迎えました

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

【名張事務所】☆お問い合わせはこちら

〒518-0413 三重県名張市下比奈知 2811-2 TEL: 0595-52-3690 (代)

【管理棟】〒518-0298 三重県伊賀市阿保 2171-12

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



Vol. 208
Since 2005



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中!

https://twitter.com/jwa_kawakami

ご意見・ご感想はこちらへ

<mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

地震防災訓練の実施

川上ダム建設所では9月1日の「防災の日」に、東海・東南海・南海の3つの地震の同時発生により、伊賀市で震度6強を観測したと想定した地震防災訓練を実施しました。

川上ダムは現在試験湛水中ですが、周辺の気象台で発表された気象庁震度階が4以上又はダム底部で観測された地震動の最大加速度が2.5ガル以上であった場合には、1時間以内に地震発生時間・地震規模、概略被災状況の把握、3時間以内に1次点検(目視による外観点検)、24時間以内に2次点検(詳細な外観点検と計測による点検)を実施し、関係機関へ報告することとされています。

訓練では、上記のダム等施設の点検の他、防災本部の設置、職員及び家族の安否確認、被災箇所の応急対策検討、関係機関との情報伝達訓練等、地震発生後に実施すべき内容や作業手順を確認しました。

今回の訓練を踏まえ、引き続き適切な対応が行えるよう努めてまいります。



機構内のWeb会議(被災状況報告)



管理棟予備発電機 燃料タンク残量確認

【管理課 大高英澄】



堤体建屋新築工事の進捗状況報告

ダム通信 6月号に引き続き、川上ダム堤体建屋等新築工事の進捗状況をお知らせします。

堤体建屋とは、ダム堤体上のダム管理設備を格納する施設で、鉄筋コンクリート造と鉄骨造の2種類があります。景観コンセプトを設定して、形状や色彩等について周辺環境との調和、各施設の統一性などの景観バランスに配慮することで、地域に親しまれるような施設を目指しました。

ダムの貯水位も上昇し川上ダムの完成後の景観が少しずつ見えってきました。引き続き完成に向けて取り組んでまいります。



下流側からの堤体建屋

- ①水位観測設備建屋
- ②選択取水設備建屋
- ③エレベータ設備建屋
- ④修理用ゲート設備建屋
- ⑤多目的利用室建屋



鉄筋コンクリート造建屋の外観



鉄骨造建屋の外観

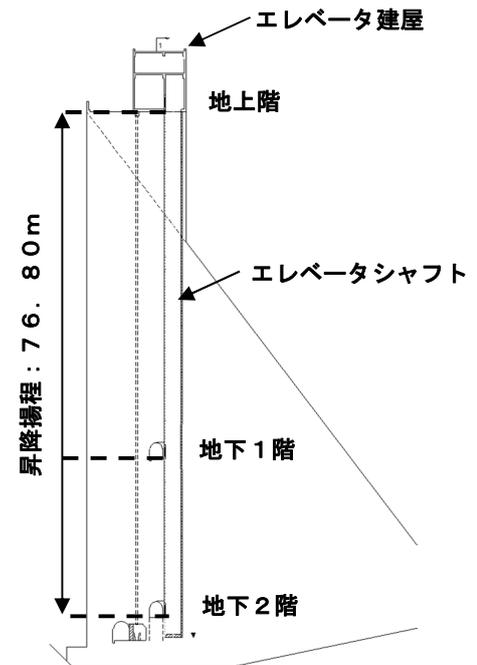


右岸側からの堤体建屋

【工務課 山田 聖】

堤内エレベータ設備据付完了

堤内エレベータ設備の据付が完了しました。堤内エレベータ設備は、資機材搬入や堤内監査廊・観測装置の点検等で用いられる設備です。最大積載重量は、資機材等の積載を考慮して、1,000kgで設計しています。堤内エレベータ設備は、地上階、地下1階、地下2階で停止でき、エレベータ速度は毎分90mで地上階から地下2階を1分弱で走行します。堤内エレベータ設備の据付確認では、据付したものが施工管理基準の許容値内であることを確認しました。また、試運転確認では、積載重量を変えながら負荷状態で試験を行い安全に走行・停止できることを確認しました。



かごの仮組立状況



エレベータシャフト内から見たかご底部

【機械課 高橋慶太】

ダム湖のいま

川上ダムは令和3年12月16日に試験湛水を開始しました。川上ダムの基礎地盤標高E.L. 198.0mに対して令和4年10月20日(9時)には貯水位E.L. 261.18mに達しており、貯水率(最高水位までの貯水量31,000千m³に対する割合)は約54.6%(16,932千m³)です。大きな洪水が想定される10月15日までは水位を洪水貯留準備水位E.L. 260.7m以下にしていますが、10月16日からは非洪水期となり、今後は最高水位E.L. 276.9mまで水を貯めていきます。

令和4年10月6日(木)にダム湖の状況を確認に行った際、県道青山美杉線上にある猫また大橋の上流側まで水が貯まっており、作業船が橋の上流に向かって航行していました。



位置図



猫また大橋の上流側



調査の作業船が上流に向かって航行するようす

【用地課 近藤 扶】

関西管内若年層研修に参加しました

9月30日(金)に第2回淀川本部管内若年層研修が関西管内で行われました。この研修は、関西管内に配属されている若年層(入社3年以内)職員を対象に、同世代の人間関係の構築を図り、担当者同士で相談しやすい雰囲気作りを目的として開催され、筆者も参加しました。

本研修では、関西・吉野川支社の淀川本部長やシニアスタッフの方から今までに経験されてきたことなどについての貴重なお話を拝聴しました。さらに、その後に「あなたの夢を語ってください!」といったテーマのもと、「将来こんな仕事をやってみたい」や「こんな会社になってほしい」など、各々の夢を発表しました。多くの人がいる前で自分の夢を語ったり、他の方の夢を聞いたりする機会はほとんどなかったので、非常に新鮮でした。

また、この研修で久しぶりに同期にも会うことができました。川上ダム建設所に筆者の同期はいないので、大変うれしかったです。縦の繋がりだけでなく、横の繋がりもとても大切であることを実感した1日でした。



研修中のようす



筆者も“夢”を発表しました

【工事課 山下祥平】

川上ダム水源地域ビジョン策定に向けて

— 第6・7回 作業部会の開催 —

川上ダムでは、水源地域ビジョン策定に向けて作業部会を開催しています。第6回作業部会は、令和4年8月30日（木）に、第7回作業部会は、令和4年10月5日（水）に阿保地区市民センターで開催しました。

第6回作業部会では、これまでの会議でいただいたご意見を踏まえ、水源地域活性化に関する具体的な取り組み、水源地域ビジョン策定後の推進方策についてとりまとめた「川上ダム水源地域ビジョン(案)」を立案しました。



作業部会のようす

川上ダム湖面利用ルール（案）

川上ダムの湖面、湖岸を利用する場合は、以下に示すルールの遵守にご協力をお願いします。

○川上ダムの湖面利用に際しては、必ずライフジャケットなどの救命胴衣を着用してください。

○内燃機関（エンジンなど）による動力船（エレキは除く）の使用は禁止します。

○船舶の係留または錨泊は禁止します。

○夜間及び悪天候（降雨、濃霧、強風等）時は、安全のため湖面を利用しないようお願いします。

○ダム湖、河川敷での火気の使用、キャンプは禁止します。

○水質を悪化する行為、ダム管理の支障となる行為、騒音を出す行為、他の利用者の迷惑になる行為、周辺の住環境に影響を与える行為は禁止します。

○遊漁においては、伊賀川漁業協同組合の遊漁規則に従ってください。

○廃棄物の投棄、ブラックバス等の外来魚放流については法令で禁止されています。

第7回作業部会では、ダム湖面を利用する全ての人が公平で安全に利用するための「湖面利用ルール(案)」について意見交換を行い、また、ダム湖周辺に設置する立入禁止、不法投棄禁止及び外来魚放流禁止の規制サイン（看板）の設置場所及びデザインについて意見交換を行い、いずれも了承されました。

今後、作業部会でとりまとめた内容について、「川上ダム水源地域ビジョン策定委員会」にて審議し、「川上ダム水源地域ビジョン」を策定させます。



規制サインの表示面

【調査設計課 水野正明】

編集後記

だんだんと日が暮れるのも早くなり、今となっては夏の暑さが嘘だったかのような気温で、夜から朝にかけては、もう寒さを感じるくらいになってきました。過ごしやすくなってきたものの、同時に風邪が流行る時期にもなってきましたので、昼夜の気温差などで体調を崩されませんよう十分お気を付けてください。

【広報誌発行事務局】

編集長 津久井（所長）

デスク 田島（総務課長） 松浦（工務課長）

記者 奥野（総務課） 北爪（管理課） 近藤（用地課）

山田（工務課） 山下（工事課） 土屋（機械課）

